

市民の声・ちまたのニュース

第19号

2019年8月25日

日本共産党根室委員会

宝林町4-203

電話 23-6023

FAX 24-1684

戦後七十四年に考える

1945年8月の終戦から74年の夏をむかえました。采ソ対立の国際社会は、1989年地中海の島国マルタでアメリカ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長の歴史的な会談が実現し、その後のソ連崩壊によっていわゆる「世界の冷戦構造」は、事実上終結したとされています。

しかし、現在世界の情勢は、米中の対立、日韓関係の悪化を始め、香港での政治的な対立と混乱、EUをめぐる問題など、国際社会の対立と混乱の様相は、21世紀の国際社会がどのような方向へ進むかの不安なことがたくさんおこっています。

この今の時代だからだからこそ、戦後74年の年にあつた「戦争」と現代社会のあり方をじっくり考えるの一助になればの思いを書いています。

ホントに少ない戦争番組

北海道新聞など一般新聞では、戦争問題を真正面から扱う記事が目につきました。

しかし、テレビ報道での戦争番組の少なさを感じていたのは筆者だけでしょうか。

NHKは、それでも戦前の戦争への世論誘導を強烈にすすめた右翼的な「日本新聞」「二・二六事件」「シベリア抑留」問題など扱いました。民放は、通常のニュース番組でわずかに「戦争問題」を報道したものの、一時間

もので扱ったのはテレビ朝日「池上彰の戦争を考えろSP」番組が私の特に印象に残ったものでした。内容を少し紹介します。

池上氏は「大本営発表」によってどれだけ多くの人命の犠牲者が出たことかと解説しました。



池上氏は、ミッドウェイ海戦の実例をあげ、日本軍が

あの戦いで大敗したのに、大本営発表は、日本軍の勝利の様に報道したと解説。真珠湾攻撃に加わった大型空母「加賀」を含む4隻の空母がこの海戦で撃沈されます。が、大本営はこの事実をウソのニュース報道で国民をだまします。大本営発表は、「一隻喪失、一隻大破」と軍事事実が「改ざん」され、事実をなげ、どの様に隠されたのかを解き明かしました。

真実の情報を受け取った現場の担当者は、あの当時

でも、事実に近い形で報道原案を練って上層部にあげると大本営発表」がされる時には、まったくのフエイクニュース、ウソニュースに改ざんされ国民に伝えられた事実。池上氏は、戦争の最初の犠牲者は「真実」だと解説しました。日本軍の敗退は、その後も隠ぺいされ、改ざんされ続けていきました。悲劇が拡大されていきました。また、番組では大戦末期には、召集令状の「赤紙」が乱発され、学徒出陣」など息子たちが次々と戦場へ送られた悲劇が語られました。志半ばで戦場に散った学生が残した絵画を集めた「無言館」の取材など戦争問題と真剣に向き合った番組でした。



同時に池上氏が指摘したのは、いわゆる大本営発表の「フエイクニュース」が今日の政治の上に引き継がれていると指摘。

森友学園問題、加計学園問題、イラクやスーダンの「日報隠ぺい問題」など公文書などの「破棄」「隠ぺい」「改ざん」が安倍政権下で横行している事実を考えると、我々が「戦争体験」の教訓から何を学ぶべきかを提起し、中々考えさせられた番組内容でした。

人気朝ドラ「なつとら」から見えるもの

十勝を舞台とした今放映されている朝ドラ「なつとら」は、戦争孤児であるアニメーション作家「なつ」の活躍を描いていますが、そこから戦後の働く女性の職場環境が見えてきます。

主人公「なつ」を通して

「君がその道をつくるんだよ」。朝ドラ主人公「なつ」が夫に押されて子どもを産む決心をする。同じ職場の女性が妊娠、会社から契約社員になるよう迫られ退職する。自分は辞めたくないとなつは悩む。事情を聞いた仲間たちが立ち上がり経営者に直談判。なつは社員のままで作画監督の大役に挑む。このドラマの舞台とされた当時の東映動画（現・東映アニメーション）で実際にあった話です。なつのモデルといわれる奥山玲子さんは、出産後も仕事をつづけた先駆けとなったそうです。

あの有名な高畑勲、宮崎駿さんらがいた東映動画労働組合の仲間とともにたたかい続けたのが奥山さん。労組の取材をした「赤旗」日曜版の記者は、良い作品づくり、人間らしい働き方を求めた奥山さんらのたたかいが今に引き継がれていると言っているそうです。



神忠志の勝手気ままな料理教室その12

ズッキーニのみそ炒め 2人前

- ①ズッキーニ中べらいの1本を薄切りに ②ピーマン2個は、乱切り ③豚バラ肉一口大に④ポウルに みそ、しょうゆ、みりんを混ぜ合わせる ⑤フライパンにごま油かオリーブ油を入れズッキーニを中火でほんのり炒め、余計な脂分をふき取る ⑦②③を入れ肉に火が通ったら④と砂糖小さじ2杯を入れ汁気が少なくなるまで炒め盛り付けする (ネットのレシピを参照)